



2025 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 GFA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

代表取締役の異動に関するお知らせ

～当社グループにおける事業・資本両面での連携強化に向けて～

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、新任取締役の候補者として内定しましたのでお知らせします。

なお、本件につきましては 2025 年 6 月開催予定の第 24 期定時株主総会における承認を経て、正式に決定される予定です。

記

1. 新任取締役候補者

氏名	現役職	新役職
山中 徹（やまなか とおる）	最高顧問	代表取締役会長

2. 選任の理由

山中徹氏は、大手光学機器メーカーHOYA 株式会社（証券コード：7741）の創業家出身であり、現在は老舗光学機器メーカー「ケンコー・トキナー株式会社」のオーナー兼代表取締役会長としても知られています。

これまでに多数の企業において代表取締役や会長職を歴任し、M&A、企業再生、グローバル戦略、資本政策などに精通。国内外の金融・産業界に広範なネットワークを築くと共に、日本有数の資産家、投資家でもあります。

2025 年 5 月 16 日付 PR 情報「GFA 株式会社の最高顧問就任に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社の Web3.0 事業を中心とした時価総額 1 兆円計画及び、上場企業へのファイナンスなど Web3.0 以外の事業も積極的に展開する当社の経営方針にご賛同いただき、最高顧問としてご就任いただいたばかりですが、2025 年 5 月 20 日に発表しました当社の 2025 年 3 月期決算及び今期以降の事業展開における定量面からも当社の経営に対する深い理解と強力な支援意向を示され、資本参加及び事業連携に関して具体的な協議が急速に進展いたしました。

この短期間での信頼関係の構築を、当社の中長期的経営ビジョンへの全面的な賛同を受け、最高顧問という枠にとどまらず、経営の中核を担う役割として代表取締役会長への就任を内定するに至ったものです。

また、山中徹氏は、当社株式の一定比率をインサイダー取引記規制遵守しつつ、市場での VWAP 平均価格にて段階的に取得し、筆頭株主となる意向を表明されています。これに加えて、山中徹氏が保有・関与する企業群との業務提携、資本調達支援、ファンドへの出資等を通じて、事業・資本の両面から当社グループを強力に後押しいただく予定です。

今回の山中徹氏の就任に関連し、山中徹氏のご息女である山中明子氏を、次世代の経営を担う役員候補者として現在社内にて検討を進めております。

山中明子氏は、光学業界の事業経験とともにグローバルな視野とマネジメント力を備えた人材であり、山中徹氏とともに当社の持続的成長と企業価値最大化に資する体制づくりの一翼を担うことが期待されています。

この新体制のもと、当社は Web3.0 を中心とした新規事業展開に加え、既存の上場企業向けファイナンス、不動産投資、ファンド運営などの多角化戦略をさらに加速させ、当社の成長力と収益基盤の強化を図ってまいります。

引き続き、当社は、「最先端フィンテックで未来の金融を支える」という理念のもと、今後も国内外における存在意義ある事業創出に努めてまいります。

3. 新任取締役候補者の略歴

2025年3月31日時点

氏名及び生年月日	略歴	所有株数
山中 徹 (1948年10月6日)	1972年3月 慶應義塾大学商学部卒業 1974年4月 小西六写真工業株式会社 (現：コニカミノルタ株式会社) 1983年4月 株式会社ケンコー 取締役専務 1985年4月 同社 代表取締役社長 1998年3月 株式会社ケンコーオプティクス 代表取締役社長 2000年9月 フィリピントキナー・コーポレーション 代表取締役社長 2002年4月 スリック株式会社 代表取締役社長 2011年6月 株式会社ケンコー・トキナー 代表取締役社長 2022年12月 同社 代表取締役会長に就任（現任）	0株

4. 新体制に関して

新体制では、AI データセンター、ブロックチェーン／暗号資産コンサルティング、暗号資産ディーリング事業の国内外での新規事業、それぞれの経営判断と事業スピードを加速させていきます。

このなかで、当社グループの今後の戦略及び持続的な成長に向けて、一層の経営体制強化を図るため、今回の代表取締役会長に山中徹氏を迎えて、代表取締役社長の松田元との代表2名体制となります。

以 上